

6 各種シート様式について

(1) 授業づくりのステップアップシート

各学部で研究授業を行う際には、このステップアップシートと学習指導案(略案)、授業改善チェックシートを提出します。それぞれ学習内容は異なりますが、共通の観点でまとめることで、学校全体の傾向や学部ごとの相違点やつながりが見えてくると考えます。

H28 授業づくり「ステップアップシート」	
<使用方法>・単元を始める前に色つき部分を記入する。・学習グループ全体の記録と、授業づくり4つの観点から個人の記録を記入し、振り返りの資料とする。 ・研究授業の際は、このシートを参考にして、学習指導案(略案)を作成する。シートを添付資料とする。 ・別紙の「授業改善チェックシート」をチェックし、同様に添付資料とする。	
学部 () 各教科等 ()	学習グループ () 授業者 ()
単元名「 _____ 」	総時数予定 () 時間 研究授業 () 時間目予定
本単元の「現在の学習や生活」へのつながり(ヨコのつながり) ・ 本単元の「次の学年・学部、卒業後の生活」へのつながり(タテのつながり) ・	
学部ごとの「特に育てたい力」(H28教育課程・努力目標を参考) ※所属の学部欄を○で囲む。	
小学部 ・基本的な生活習慣やあいさつ、約束を守る力 ・自分から考え分かって行動する力 ・自分の思いを表現する力	中学部 ・将来を意識した目標を設定する力 ・自分の成長を振り返る力 ・自ら考え判断し行動する力
高等部 ・地域の一員であることを意識し、異なる学習環境に見通しをもつ力 ・主体的に進路を選択、決定し、社会の一員としての役割を意識する力	
<学習グループの実態> ・ ・	
単元のねらい(学習グループ全体のねらい)の2ステップ ↓ステップ2は単元終了時に達成したい目標	
1 「 _____ できる」 「 _____ できる」	2 「 _____ できる」 「 _____ できる」
学習グループ全体の評価メモ	
・ (日付) _____ ・ (日付) _____ ・ (日付) _____	・ (日付) _____ ・ (日付) _____ ・ (日付) _____
単元終了時に記入 単元の目標達成度 _____ %	

(2) つなげるシート

本校では来年度4月から中、高等部が四倉高校の分校舎へ移り、小学部と分かります。そのため今まで以上に、学部間の共通理解や連携がもとめられます。そのひとつの方法として、このシートを考案しました。

これまでも各種計画や文書などがあり、学年や学部間の移行支援に活かされています。そのひとつとしてシートを児童生徒全員について1枚ずつ作成します。ただし、新たに0から作成するというではなく、校内研修で取り組む研究授業の4つの観点の記録を生かせばそのまま作成できるように計画しています。それぞれ簡潔な文章で、書きやすく、読みやすいものにしたいと考えます。

次に活用方法です。紙媒体としては、個別の指導計画の添付資料として綴じるようにします。同時にデータをまとめ、校内のイントラネットで、一覧表の氏名をクリックすると、このシート(PDF)が開くようにします。

例えば、例年実施している校内ケース会議の時に、シートを開き、写真や記述を見て児童生徒を具体的にイメージしながら共通理解できるようにします。校舎が分かれていても、お互いイントラネットを通して同じ資料を見ることができます。



H28年度

つなげるシート



<作成の目的>

- ・個別の指導計画の参考資料とする。(写真を多くし、A4用紙1枚とする。)
- ・イントラネットで情報を共有する。
- ・ヨコ(学校内・学部内・学年内・関係機関等)とタテ(学年間・学部間・卒業後進路先・関係機関等)の共通理解や移行支援等に生かす。

作成日: H28年()月

作成者()

原写真

その他児童生徒を表すような写真



()部()年()組
児童生徒氏名()

4つの観点

観点ごとの実態と目標

有効と思われる手だて

関連しそうな写真

「考える力」



<実態>

.

<目標>

○

.

.

.

「やってみる力」



<実態>

.

<目標>

○

.

.

.

「興味をもつ力」



<実態>

.

<目標>

○

.

.

.

「表現する力」



<実態>

.

<目標>

○

.

.

.